**富士山文化の宝箱**

**富士御室浅間神社**

富士御室浅間神社は、吉田口登山道の二合目に位置しています。修験者たちはこの地域を拠点としており、この神社は富士山中に建立された最初の神社でした。

 この神社と河口湖畔の勝山に立つ別の御室浅間神社は、代々神職を務める小佐野家によって管理されていました。この二社はそれぞれ本宮と里宮と呼ばれていました。

 本宮は17世紀初期にこの地の領主、鳥居成次（1570–1631）によって再建されました。この建物は保存のために1974年に里宮の境内に移築されました。現在、富士御室浅間神社は重要文化財に指定されています。